

ムダな電力消費箇所を特定 効果的に省エネを実現へ

お客様工場は広大な敷地に製造設備を多数運用しており、ムダな電力消費を見直すだけでも大きな効果が期待できました。しかし、現行の電力モニタではムダに電力消費している箇所を特定することができませんでした。

お客様のプロフィール

会社名
自動車(完成車)工場様

業種
自動車製造等の重工業

従業員数
約4,500人

所在地
国内工場

自動車

工場

導入前の課題

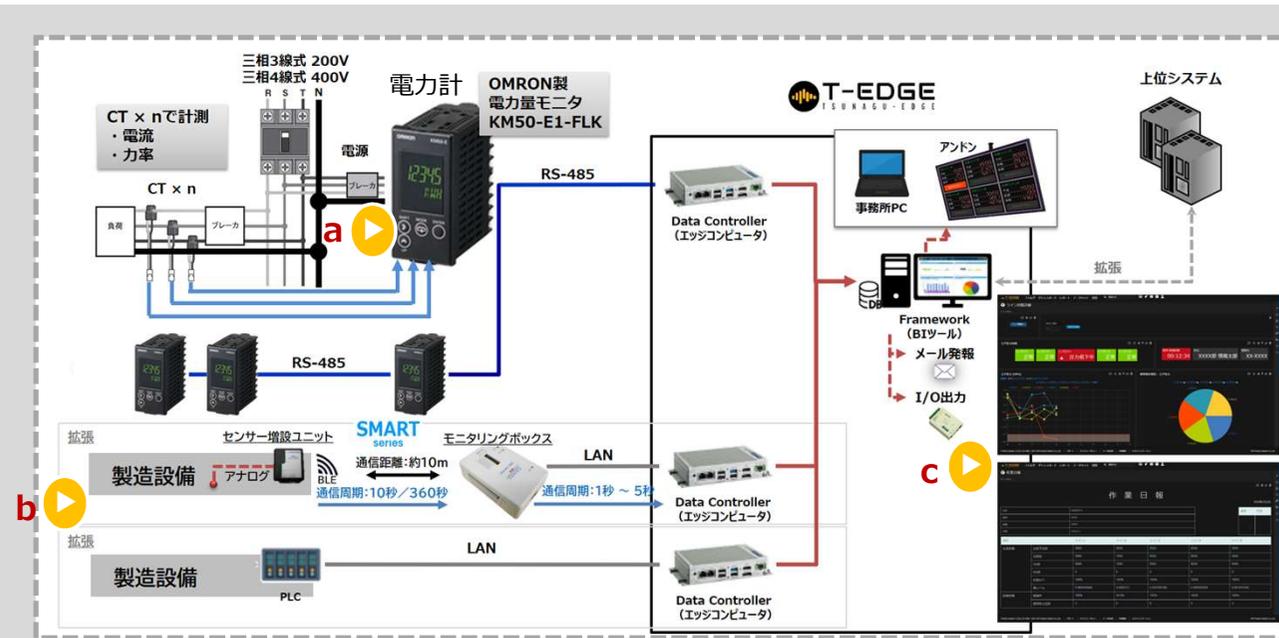
- 現行の電力モニタは電力系統毎の管理で使えない
- 生産と重ねて見ないとムダな電力はわからない
- 省エネ対象は製造設備以外にインフラ設備もある

選んだ理由

- 市販電力計の増設で管理範囲を拡大している
- 生産情報と消費電力を同時に見える化できる
- 製造設備だけでなくインフラ設備の情報も取れる

導入の効果

- 省エネを確実にかつ徐々に推進できる体制確立
- これまで全く想定していなかった「**ムダ**」の発見
- 設備全般の情報によりカーボンニュートラルが加速



- ムダに電力を消費している箇所を特定
- 電力量のさらなる見直し方策が明確
- カーボンニュートラル推進が加速

■ポイント

- a ▶ OMRON製など、各社の市販機器に精通
- b ▶ 製造設備データ収集に関する豊富な実績
- c ▶ 対策方針の立案を容易とする見える化機能

■導入費用・納期

- SMARTシリーズ(電力計10台含む) 200万円
- T-EDGEカスタム開発 500万円
- T-EDGE利用料 60万円/年
- 納期: 約4カ月